

内側も落書きでいっぱい地下鉄は、犯罪多発地でもある

世界の若者は今

ヤングフオーラムⅢ

>2<

ひたすらに自分の可能性を
 信じて目標に突き進むニユー
 ヨーカーたちそんな彼らを
 能塚光さん(左)九州出身、
 会社員は「ナイアガラ」の
 酒のようだと形容する。
 激しくどよむエネルギーが
 が、一人ひとりに実感を
 という。何か一つ当たれば
 万長者になれる。それがニ
 ヨーク。しかし、競争の渦
 の中に置かれたニヨーカー
 は孤独だ。交際相手を紹介す
 る雑誌が飛びように売れる

競争の中に孤独感

夢を断たれ犯罪へ走る

ニユーヨーク(中)

「安らぎを求めたいとか過剰
 感を持ちたい」と思ふ気持ち
 が人一倍強いのではないかと
 と鹿さんは言う。

公園で麻薬の売買

嫌に負けたり、目標を見
 失ったり、孤独に絶えきれな
 かつたして、ドラッグ(麻
 薬)とアルコールに走る人も

と市内を案内してくれた
 留邦人は説明する。「夜はも
 つと多い。珍しいことでは
 い」とも語る。野郎が酔け
 勢折した人のお決まりのコ
 スという。

危険を避け、観覧はあまり

地下鉄には乗らない。空手師
 腕の摩損行き(新庄市出身)



ニュージャージー州のガンショップ。短銃が150ドルほどで買える

に同行してもらい、換検に
 行つてみた。料金均二で九
 十。窓口で硬貨に似たト
 ンと重さがある。ニユー
 クンという切符代りのメ
 ルを買い、それを改札口で
 ルをからホムに入ると、車
 が黒くなるほど騒音が重
 があつた。天井は黄色い
 訓練している」と鹿さん
 門下生のコンヒューター
 師、フランク・ロレットさん

い。突き飛ばされたりひた
 くれたり、だから明るいこ
 二で待つてです。電車が
 と駆け足で乗る。ちよと乗
 り込んだ車間にガードマン
 用の車がかまつているわけ
 す。鹿さんは話して聞けた。
 黄色いペンキはここで待つ
 うという指標だつた。

護身用に射撃訓練

ニユーヨーク犯罪を激減
 る。二つは銃器。「效力月
 前、近頃破りに過つて師
 射撃された所がある。身
 があつた。私にも何回か射
 訓練している」と鹿さん
 門下生のコンヒューター
 師、フランク・ロレットさん

夢を断たれ 挫折してま
 った敗北者には、ニユー
 クは徹底して冷たい。そ
 のもがき、あきあき麻薬や
 ルコールを嗜ぶ、さらに次
 犯罪、凶悪犯へと発展して
 多くな。振り詰めた緊張感
 が漂う、それもニユー
 の素顔なのだ。



本社特派員 深山洋

世界の若者は今

ヤングフォーラムⅢ

>3<



汗を流すニューヨーク。右端が岸さん

岸恒行さん(新庄市出身)のように大志を抱いてニューヨークに移り住み、成功している青年日本人層を「新二世」と呼んでいる。この「称号」があるかないかで、その人の評価が分かれる。岸さんがマンハッタンで剣道会場の指導を始めては計け十二年、四年目に独立し、自分の道場を持つまでになった。自己には、ニューヨークたちを中心に

ニューヨーク

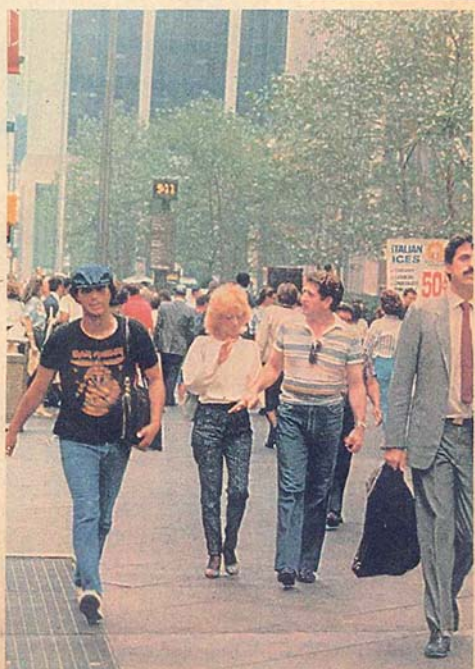
百五十人が集い「道場後援会」(会長・山又勇さん)を手づくりの道場をけいこ汗を流すニューヨーク。右端が岸さん

群馬県出身、画家(養父)で、自分のことで精いっぱい、のニューヨーク人をつつまどめたのは、岸さんの人格以外の何物でもない。

厳しさを求め燃焼

邦人「新二世」の評価高く

新しい波は、高級趣味やアテは、すべて町下生ニューヨークイタツの開放を促し、いま、カたちによる手づくり、金開拓の格好の標となった。ソノホは変化を恐れない前を出し合い、見つけを賣つ、もろろんをまで彼を引、確的なアメリカ文化の風流に、自分たちで大仕事をやっ、きつけたのは岸さんの人柄。また、最先端のファッションもこから生まれ、世すは、彫刻家(ハリ・チャ)に広がっていき、エが少な、ルヴァンさんは、信頼、増う、猛げい、こ、十平方呎を借り切った道場、腕が激しいため、その腕が行われる、徹底と厳しい。



「剣道の竹刀で手をつなぐ青いアサがきた」といふ、イレクターの「アヒゲル」トル嬢は笑つ、最後は、のぞきんぐ、敬あ、でこれをつるのほ、ら、い、それが私のま、岸さんは、所は百も二百とわ、だ、大半は、生、維持できな、手加減してま、本、は、耐えられ、が、いま、

